

物品第 87 号

除雪グレーダ(3.1m級)購入

仕様書

おいらせ町

# 除雪グレーダ(3.1m級)仕様書

## 除雪グレーダ3.1m級 仕様書

### 概 要

この仕様書は、除雪グレーダ(3.1m級)に適用するもので、納入機は下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足させるほか、道路除排雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性と良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は昭和26年運輸省令第67号(以降の法令改正分を含む。)[「道路運送車両の保安基準」]に適合するもの、または平成17年度法律第51号「特定特殊自動車排出ガスの規定等に関する法律」に基づく「特定原動機技術基準」及び「特定特殊自動車技術基準」に適合するものでなければならない。

ただし、継続生産性・輸入車・少数生産車については、平成3年10月8日付け、建設省経機発第249号(以降の改正分を含む。)[「排出ガス対策型建設機械指定要領」]等に基づき適正に指定または届出された排出ガス対策型建設機械とする。

ここに明記されていない個所及び同等機能を有した装備にする場合についてはおいらせ町長(以下「発注者」という。 )と物品供給人(以下「受注者」という。 )が協議の上決定するものとする。

### 目 的

除雪グレーダは、降雪時における道路交通の確保を目的として、道路上における一般除雪、拡幅除雪、交差点処理等の除雪作業に使用するものである。

#### 1. 性能

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| (1)除雪幅(推進角60度において) | 2.6m以上   |
| (2)最大除雪高(新雪時)      | 0.15m以上  |
| (3)ブレード線圧          | 16KN/m以上 |
| (4)最高速度            |          |
| 前進                 | 44km/h以上 |
| 後進                 | 28km/h以上 |
| (5)最小旋回半径(最外側車輪中心) | 6.4m以下   |

(6)運転室内騒音レベル「騒音障害防止のためのガイドライン」(厚生労働省平成4年10月1日、基発第546号)第Ⅰ管理区分に準ずる。(測定方法はJCMAS H011の機械測定時による)

#### 2. 主要緒元

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| (1)全長              | 7,800mm以下  |
| (2)全幅              | 2,200mm以下  |
| (3)全高(黄色灯火上端まで)    | 3,500mm以下  |
| (4)最低地上高(減速装置下面まで) | 360mm以下    |
| (5)車両総質量           | 13,000Kg以下 |

なお、「7. 付属装置及び付属品及び7-2車両総質量に含まないもの」以外は、本車両総質量に含むものとする。

- |         |    |
|---------|----|
| (6)乗車定員 | 1人 |
|---------|----|

### 3. 車体

#### (1)機関

形式水冷、ディーゼル機関

定格出力140kw以上

#### (2)車軸

前車軸 2輪油圧リーニング機構又はエリオット式

後車軸 4輪タンデム機構

#### (3)軸フレーム

油圧屈折式

#### (3)タイヤ

形式 ラグタイヤ 11.00-20-16

#### (4)かじ取装置

形式 全油圧式

#### (5)運転室

構造 全鋼製密閉型

窓(前面、ドア左右)熱線入合わせガラス

窓(後)強化ガラス

前面、後面、ドア左右冬用ワイパーブレード付

サイドミラー熱線入

### 4. 除雪装置

#### (1)形式

全油圧式、操作弁制御方式

ドローバ 鋼板溶接構造又は形鋼鋼板溶接構造

サークル 内歯歯車式

ブレード 側刃付箱型 寸法(長×高×厚)3,100mm以上×550mm以上×15mm以上

#### (2)作動動力装置

動力伝達装型式 油圧式

#### (3)能力

サークル回転角度 左右各 360度

切刃最大高さ 地上 360mm以下

切刃最大高さ 地下 420mm以下

ブレード横送り長さ 左右各 500mm以上

最大ブレード横送り長さ 左右各 500mm以上

切削角調整装置 油圧調整式

安全装置(サークルクラッチ)

ブレードに過大な負荷や衝撃が加わった場合、サークル回転部のクラッチが外れること等によりサークルが回転し、各部の損傷を防ぐ装置を有すること。

切刃

ストレート型平型刃先(JIS D6101)又は準じる切刃(側刃付)

## 5. 計器類

(1) 運航記録計	一式
(2) 燃料計	一式
(3) アワーメータ	一式
(4) 水温計	一式
(5) 充電警告灯	一式
(6) 機関油圧警告灯	一式

## 6. 照明装置類

(1) 前部作業灯	2灯
(2) 前方作業灯	2灯以上
(3) 後方作業灯	2灯以上
(4) 黄色灯火(散光式)	前500mm以上、後1,100mm以上

## 7. 付属装置及び付属品

### 7-1 車両総質量に含むもの

(1) バックブザー	一式
(2) エアコン	一式
(3) ワイパー	一式
(4) ウインドウォッシャー(電動式)	一式
(5) 標識版(300×570mm以上、車体後部取付、反射式)	一式
(6) アンダーミラー(前後)又はそれに準ずるもの	一式
(7) バックモニター	一式
(8) AM/FMラジオ	一式
(9) 熱線入サイドミラー	一式
(10) バッテリースイッチ	一式
(11) ドライブレコーダー(前後)	一式
(12) シートベルト	一式

## 7-2 車両総質量に含まないもの

(1)標準付属工具	一式
(2)取扱説明書	2部
(3)部品表	2部
(4)履歴簿	1部
(5)タイヤチェーン	一式
(6)床マット	一式
(7)非常時信号用具(発煙筒1、赤旗1)	一式
(8)消火器	一式

## 8. 塗装

国土交通省建設機械塗装基準による。

## 9. 検査

完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに車両や作業装置類の動作確認を行い全般的な機能を検査する。

ただし、車両総質量については、本仕様書で定めてとおりであるかを、その内訳が判る資料により検査する。

検査に要する器具、人員等は受注者において準備するものとする。

## 10. 保証

納入後1箇年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、受注者は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた保証期間が1箇年以上にわたる場合にはそれを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、発注者と受注者が協議のうえ、受注者に無償修理を行わせることがある。

## 11. その他の事項

納入機は新品とする。

## 12. 灯火の取付方法の指定

黄色灯火の取付方法は、次のとおりとする。

- ・黄色灯火の規格、取付位置については、「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱について(昭和55年6月5日付け、建設省機発第473号(以降の改正分を含む)」に準じるものとする。
- ・黄色灯火は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、黄色灯火の重量、振動に耐ええるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

### 13. 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。

#### ・緩和申請等について

本履行にあたり、車両登録、基準緩和の申請及び道路維持作業車の申請・届出については、受注者が行うものとする。また、これらにかかる費用は受注者の負担とする。

ただし、これにより難しい場合は発注者の指示を受けるものとする。

### 14. 納入場所

おいらせ町役場(詳細な納入場所については別途指示する)

### 15. 納入期限

令和7年11月28日

# 特記仕様書

各機種の仕様書による他、次の各号によるものとする。

## 1. 塗装仕様

国土交通省建設機械塗装基準による。

※バンパーを有する車種については、バンパーを塗装するものとする。なお、バンパーを有しない車種についてはこれに準じる箇所に塗色する。この場合、後部の赤色部分には反射塗料を使用するものとする。

※作業装置の危険表示については、除雪装置の回転部分及びプラウ前面は赤色とし、その他は赤白の縞塗料を施す。

## 2. 建設機械番号等の表示及び表示位置

1) 建設機械番号表示については発注者と協議の上決定する。

建設機械管理番号は「KS〇〇ー〇〇〇」とする。

2) 「おいらせ町」表示等位置サイズについては発注者と協議の上決定する。

3) 車体後部に取付表示する標識版は300×570mm以上とし発注者と協議の上決定する。

※なお1)から3)の寸法については機械のサイズ等を考慮しレイアウト図を作成し発注者と協議の上決定するものとする。

## 3. 提出図書

1) 納入計画書(製作着手前に提出)

- ・提出図書一覧表
- ・担当者一覧表(社内体制)
- ・納入工程表
- ・製作仕様書
- ・アフターサービスメンテナンス体制
- ・打ち合わせ記録
- ・塗装要領書

※過去の同規格の納入機で除雪作業に多大な支障をきたす故障があったものに関しては、故障の原因・対応策等について町に報告するものとする。

2) 建設機械履歴簿(次の必要事項を記入する)

- ・規格、形式(メーカー呼称)及び主仕様
- ・機械本体とエンジンの製作会社名、製造番号、製作年月日

### 3) 写真(カラー・サービス版)

- ・建設機械履歴簿写真  
車両の前後、左右両側面
- ・検収写真(納入場所にて撮影する)  
車両の前後、左右両側面、付属品
- ・機械台帳写真  
車両の正面から見て右斜め前、左斜め後、側面

### 4) 維持管理資料

- ・部品価格表
- ・点検シート(日常、1カ月、12カ月)
- ・同上点検要領(機種特有の点検内容を含むものとする)
- ・オイル交換基準一覧表

### 5) 仕様書10項に関する製作会社発行の保証書

## 4. その他の事項

- 1) 日常的なメンテナンスに必要な足がかり及び手摺を設けること。また、足がかり部分には滑り止め等の安全措置を講ずること。
- 2) 発注者は、納入機の製作工場等において、製作工程の進捗工程、使用適合状況を確認することができる。この場合、必要な資機材、労務等は受注者の負担とする。
- 3) 受注者は、納入機械の運転及び取扱い等について十分な知識を有する技術者を納入場所に派遣し、取扱い、維持管理方法について技術指導を行うものとする。
- 4) 受注者は、納入後もアフターサービスとして、維持管理等に関し誠実に協力すること。
- 5) 黄色灯火の取付位置は、前後方向からの視認性を十分考慮し、原則として運転室屋根中央部の車両中心線上に取付けるものとする。
- 6) 車両は「道路運送車両法の保安基準」で定める車体検査を受けた後納入するものとする。  
なお、「自動車損害賠償責任保険」は、別途支払うものとする。  
また、「自動車損害賠償責任保険」の保険月数については、発注者と協議をし決めること。



# 参考図

